

事業者の
皆様へ

日本トップクラスの 安全・安心なまちに向けて

安全・安心に関する活動をはじめませんか？

事業者の皆様は、タクシーや営業車、配達車による巡回パトロールや見守り活動、警備会社による防犯教室など、それぞれの業務の中で自主防犯活動を行っています

自社の事務所出入口等に
防犯ステッカーを貼付



社用車にステッカーを貼付
してパトロール活動を実施



自社敷地内にのぼり旗を掲示



自動車に青色回転灯を装備した
自主防犯パトロール活動
防犯活動を広く住民に
アピールすることができます



安全・安心に関する事業に参加してみませんか？

従業員の皆様へ、安全・安心対策や地域活動への積極的な参加の働きかけをよろしくお願いします

犯罪から身を守るセミナー

女性を対象として、学校や企業などに出向き、正しい防犯意識を身に付け、それを習慣づけるための防犯教室を実施しています



防犯パトロール

生活安全パトロール隊や PTA などによる、子どもの見守り活動、夜間の防犯パトロールなどの自主的な防犯活動が行われています



安全・安心まちづくり市民大会

安全・安心に関して活動する様々な団体が情報交換や交流を行い、「安全・安心活動の輪」を広げ、意識の高揚を図ることを目的に開催しています(年1回)



北九州市安全・安心条例の「柱」となる
「犯罪機会論」とは?!

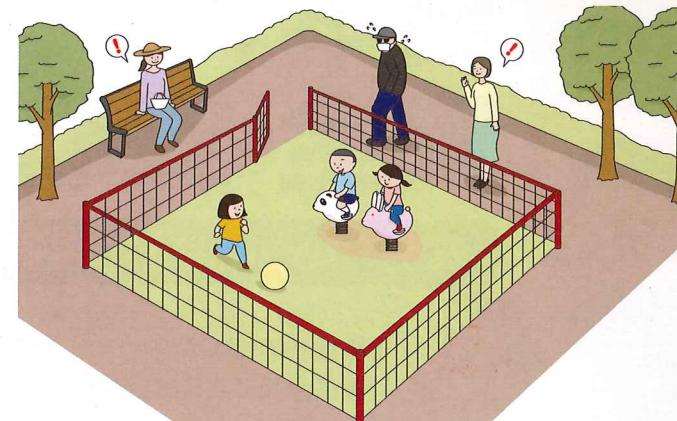
⇒犯罪の発生要因は発生した環境(場所)にあるとし、犯罪の機会を与えないことによって犯罪を未然に防止するという考え方
具体的には、その場所(犯罪空間)が

×「入りやすく見えにくい」は、危険なところであり

○「入りにくくて見えやすい」は、安全なところである

とのキーワードで危険なのか安全なのかを判断します

(立正大学の小宮信夫教授が提唱する犯罪予防のための理論)



「プラス防犯」とは?!

⇒防犯と直接関係のない日常行動(清掃や花育てなどの環境美化活動、日頃のウォーキング・ジョギング)や防犯以外の分野のまちづくりに防犯の視点を加えるものであり、地域の防犯力が高まると言われています

また、交通安全や防災のまちづくりと防犯を一緒に進めることも提案されています

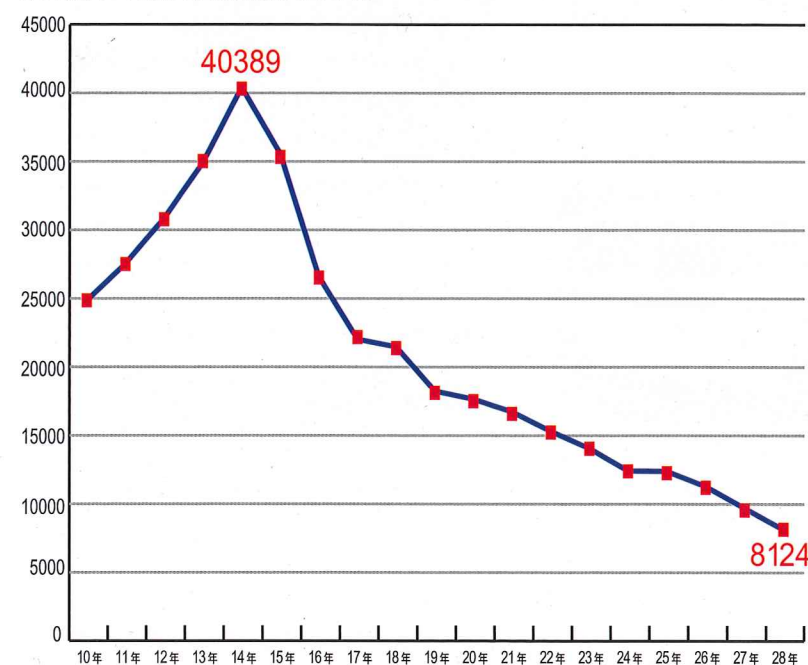
○ 地域で環境美化を行う人々の目 → 「自然監視性の確保」

○ 手入れされた草花、清掃された道路 → 「領域性の強化」

(東京大学の樋野公宏准教授が提唱する防犯まちづくりの一手法)



北九州市の刑法犯認知件数の推移



「安全ベストを着て集まった最多人数」
2136人 世界記録認定!

2016(平成28)年10月21日、北九州市小倉北区の西日本総合展示場新館で行われたイベントには多くの市民・地域団体・事業者の皆様が参加し、イギリス・ノーザンプトン市で認定されたこれまでの記録1543人を大きく上回る2136人が新記録に認定されました。市民等による安全・安心に関する取組をさらに市内外に発信することで、安全で安心な都市のイメージづくりにつなげていきます



- 犯罪に強い環境の構築のためには、市民・地域団体・事業者による防犯活動が必要です
- 地域住民等の目による監視性を高め、犯罪が起こりにくくする対策が重要です
- 相互につながりを深め、活動の輪が広がることで、良好な地域社会が作られます

事業者の皆様の自主防犯活動を推進しています!!

《お問い合わせ先》北九州市 市民文化スポーツ局 安全・安心推進部 安全・安心推進課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL 093-582-2911 FAX 093-582-3889

北九州市印刷物登録番号第1609124D号